

## 会議結果のお知らせ

### 1 開催した会議の名称

令和3年度第1回大分県立図書館協議会

### 2 開催日時

令和3年7月1日（水）13：30～15：00

### 3 開催場所

大分県立図書館 3階 特別会議室

### 4 出席者（10名中9名出席）

#### (1) 委員

古後委員長、佐藤委員、長尾委員、淵委員、川原委員、富高委員、大塚委員、大西委員、清水委員

#### (2) 事務局

宮迫館長、内田副館長、森山副館長兼学校・地域支援課長、浜松総務企画課長、増本サービス課長 ほか担当総括

### 5 公開、非公開の別

公開

### 6 傍聴人数

なし

### 7 議題及び結果

#### (1) 議題

##### (議事)

ア 令和2年度事業実績について

イ 大分県立図書館重点目標の達成状況について

#### (2) 結果

##### (議事)

ア 事務局から説明 了承

イ 事務局から説明 了承

### 8 主な審議内容及び会議録の概要

議題（1）について、事務局から以下の資料に基づき、説明を行い、承認を得た。

・資料1：令和2年度事業実績

主な委員意見及び事務局回答は以下のとおり。

○委員意見

資料1の8ページの「県民の問題解決を支援」の公開講座、大人向けの教養講座「蓄音機の世界」の受講者が100名となっているが、この講座の定員は何名か、どのようなところが、県民の心をつかんだのか。

●図書館回答

定員は100名としている。古典の日の神楽等、郷土に関係するものは県民の関心が高いと感じている。また、この講座に関しては、少し若い年齢層の方も受講しており、蓄音機の音色に心が癒やされたとの意見もいただいている。講師の梅田氏はかなり古い蓄音機を所有しており、実際にこちらに持ち込んで、レコードをかけていただいた。今、レコードもブームになっていることもあり、多くの方が来られたと感じている。

○委員意見

資料1の3ページの「宅配貸出サービス」について、障がい者向け貸出し冊数が435冊となっているが、障がい種別等、内訳がわかれば教えていただきたい。また、障がい者の登録者数は何名か。

●図書館回答

貸出資料の内訳について、手元にデータはないが、大活字本、CDブックに加えて一般の図書、絵本も含まれている。また、登録者数は80人ぐらいである。

○委員意見

資料1の1ページの「子ども読書推進員」について、コロナ禍もあり派遣先が大分市、別府市が中心になっていると思うので、県下全域に広がってほしい。母親クラブにもっとPRし、そういうところにも広がってほしい。昨年度の派遣先はどこの地域だったのか。

3ページの「おたのしみ袋」の実績が109セットとなっているが、どのような広がりがあり、どのような声を聞いたのか、詳しく教えていただきたい。

●図書館回答

子ども読書推進員の昨年度の派遣先は、豊後大野市の小学校である。相談の4団体は、大分市の3小学校、佐伯市の1団体である。

子ども読書推進員については、県下全域に派遣している。お母さん方のグループの要望がありましたら、是非申込みいただきたい。

おたのしみ袋は、5冊セット、年齢別に分けて行っている。例えば、「穴」、「発

明」といった、いろいろなテーマでセットを組んでいる。利用者からは、「普段手に取らない本を読むことができ面白かった、子どもたちがわくわくした」などの意見をいただいている。

○委員意見

映画上映会等、図書館に親しんでもらうためのいろいろなイベントがあるが、関連書籍などの資料にあまり触れられていなかった。イベントの企画が書籍につながっていくしかけ、展示や特集、関連書籍のペーパーがあるとよいと思った。

●図書館回答

ぜひ取り組んでいきたい。

○委員意見

資料1の5ページの「不登校対策」について、フリースクールに対する具体的な支援はどのようにしているか。

●図書館回答

5年前から、当館では教育センターで、「ポランの広場」の活動をいっしょに取り組んでおり、子どもたちが社会性をスタートする場に図書館をしていきたいと考えている。年間3回、来館し、職場体験や将来の職業についての調べ学習のほか、読み聞かせの技術を使って、近隣の保育園や幼稚園で読み聞かせを行っている。

昨年は、コロナ禍で利用はなかったが、図書館をまず利用してもらうため、県内17フリースクールに、休館日の利用を呼びかける等、様々な工夫をしている。

○委員意見

資料1の10ページの「社会教育推進力の育成支援事業」について、市町村の社会教育主事が若年化し、異動もあり、こういう事業はありがたいと思っている。昨年度の実績、具体的な内容を教えていただきたい。

●図書館回答

昨年度は4市町村に5回派遣している。日出町で行われた大分県の公民館の研究大会の指導助言を行った。また、由布市で行われた県のPTA連合会研究大会での打合せ及び当日の指導助言、当日がコロナ禍で書面開催となったので、指導助言も書面で行った。それと、大分市で2回、O-LABOの科学体験講座に講師として参加している。そして、玖珠町で行われた日田地区の公民館連合会の研修会に社会教育主事を派遣している。今後も、いろいろな市町村に、いろいろな事案に対応できるように準備していきたい。

社会教育主事の専門性を発揮する、派遣する職員のスキルアップも、今後積極的にやっていきたい。今年度は、9月の臼杵市での社会教育委員の研修会の講師派遣

、宇佐市でのやさしい日本語の講演等も計画している。

議題（２）について、事務局から以下の資料に基づき、説明を行い、承認を得た。

・資料２：大分県立図書館の運営の状況に関する評価

主な委員意見及び事務局回答は以下のとおり。

#### ○委員意見

昨年度は、コロナ禍というイレギュラーな状況下で、どこまで事業評価に対して考慮していくのが難しかったと思う。確かに入館者数が下がっているが、コロナ対策事業にどれほど時間を費やしたのかは、評価できていない。このC評価は個人的には厳しい気がする。

#### ○委員意見

前年度比で評価するのがよいのか疑問を感じている。コロナ禍での研修に関しては、オンラインでの実施をしていることは、評価的には高くなると思う。貸出し冊数は学校が開いていないなかで伸びている、デジタル資料も伸びているので、Aでよいと思う。

#### ●図書館回答

コロナの状況下で指標がこれでよいのかというのはある。県の長期計画は来館者数を指標としており、そこは変えられない。今後、来館者ではなくて、非来館の利用者とか、そういったものも含めて考えていくべきではないかと思っている。毎日の来館者を見ていくと、コロナが落ち着いた時でも、例年の多い時から見ると、日ごとの来館者数が少なめとなっている。非来館での利用ということもあるが、来館して利用していただくことも重要である。コロナの状況もあり、評価が非常に難しいと感じた年であった。

#### ○委員意見

（２）の資料収集・保存・提供の推進で、令和２年度は記載がないが、障がい者へのサービスについて、しっかりと対応したということか。

#### ●図書館回答

障がい者向けのサービスについては、大活字資料、障がい者向けの資料も充実させていっている。大活字本は、昨年度１０９冊、一番有名な埼玉福祉会から出ている本は、ほぼ全点購入している。朗読CDは前の年に３５０タイトルほど購入しているので、昨年は、新しく３０点ほど購入している。

9 問い合わせ先

担当課 大分県立図書館総務企画課

電話番号 097-546-9977